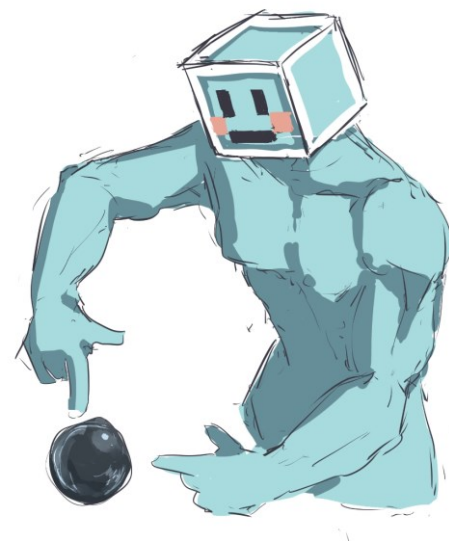
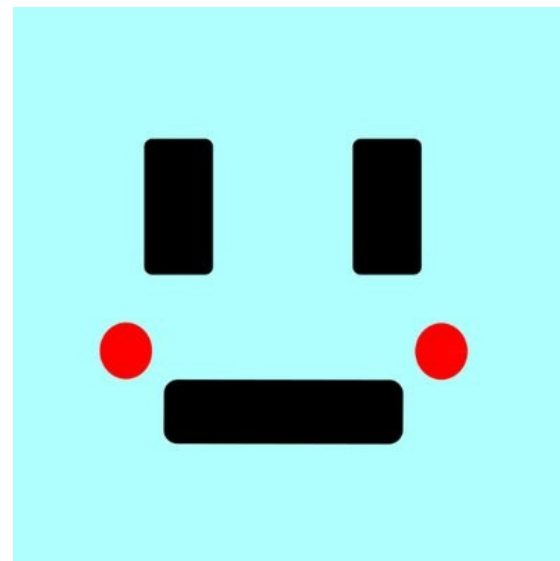


著作権法(法学)入門

坂井 吉弘

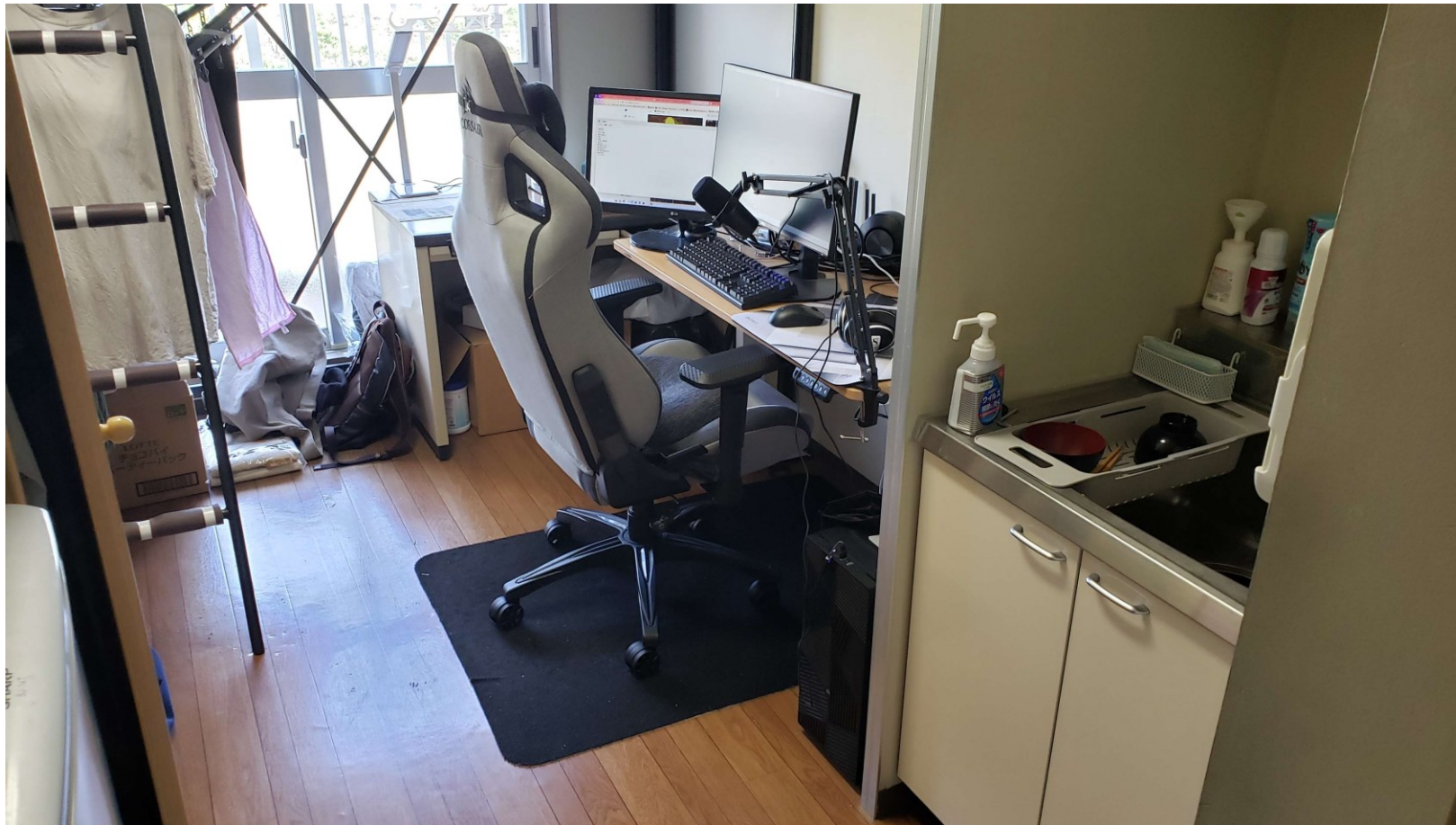
はじめまして

- 坂ラッシュ（本名：坂井吉弘）です
- 三重から来ました
- 学部の専攻は電気電子ですが
情報と法律が好きです
- MCバトルとかValorantとか好きです



部屋

- 足立さんありがとうございました



このスライドについて

- 当然、**内容の正確性を保証しません**
- 時間をかけていません
 - 今、14 : 41です。間に合ってますか？
- 正しさを検証していません
- いつでもご意見や質問どうぞ
- **自己責任**でどうぞ

この発表の目標

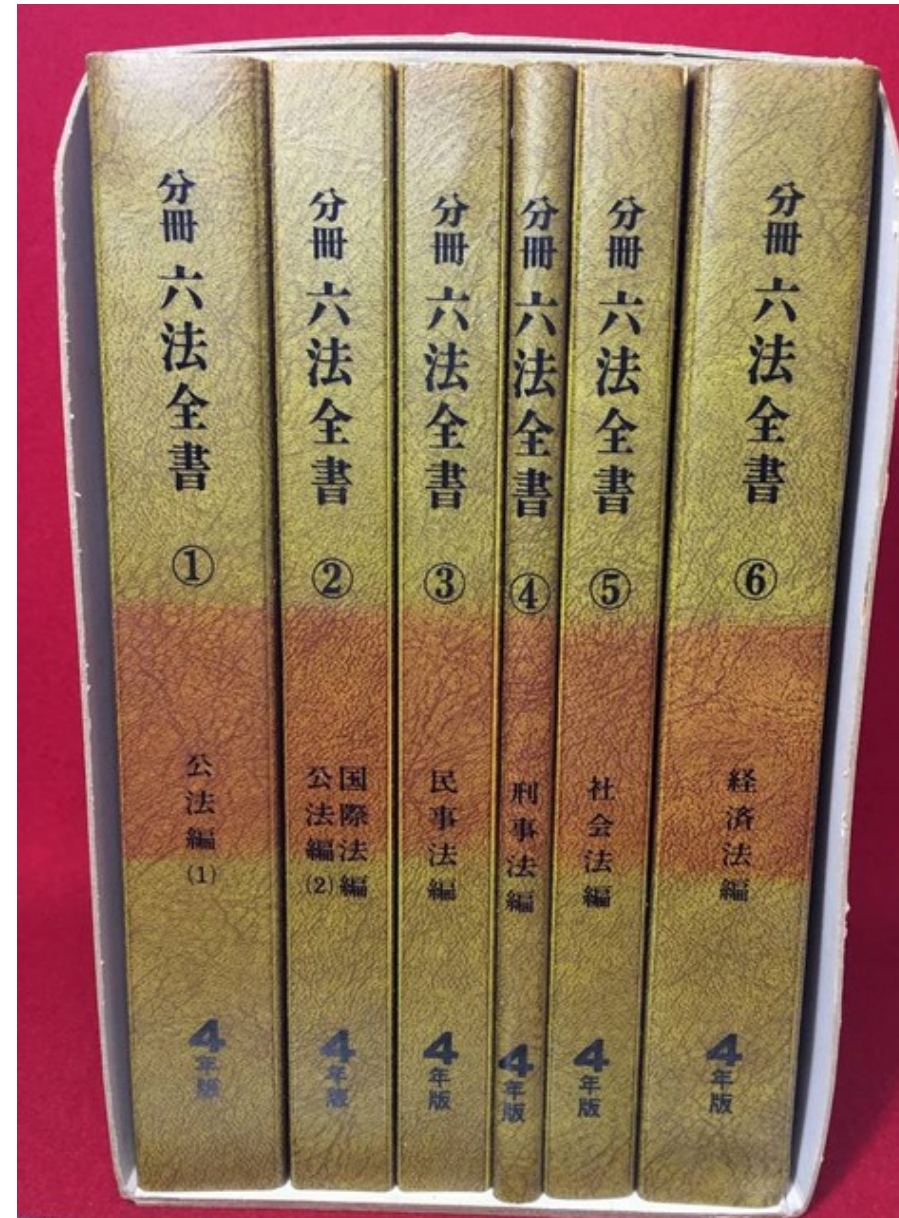
- 世の中で語られる著作権の話は **6割くらいゴミ** !
 - 適当言ってるね…
- 正しい話と間違っている話と正確でない話を見分けられるようになろう
- ついでにちょっと法律に詳しくなろう

Section 1

法学入門

六法って何

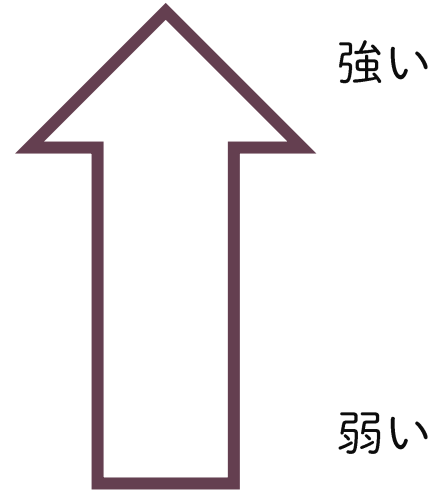
- 代表的な6つの法律を纏めた総称
 - 転じて、法律全体のことを指す場合も
- 六法の中身
 - 憲法
 - 民法
 - 商法
 - 民事訴訟法
 - 刑法
 - 刑事訴訟法



法令と法律

法令：憲法と法律と命令と条例の総称

- 憲法
- 法律
- 政令
- 省令
- 通達等
- 条例・規則等



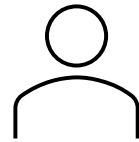
違法行為ってなんやねん

- 違法行為
 - 法秩序（法令）に違反する行為
 - 何らかのペナルティがある
- なんで違法行為をしちゃいけないの？
 - わからん、俺は説明出来ん
 - 少なくとも、大抵ペナルティがある

→どんなペナルティがあるのか？

刑事上のペナルティ

- 刑法や各法に定められる刑事上の処罰
 - 懲役とか、罰金とか、**犯罪行為**的なやつ
 - 警察が調べて、検察が起訴して、裁判所が判断する



私人

VS

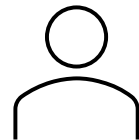


司法官憲

- 刑事上の処罰は「**最後の掟**」

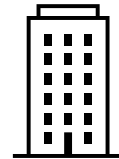
行政上のペナルティ

- 秩序罰
 - 国や地方公共団体が与える罰「過料」（not 科料）
 - 扱いとしては、国を私人と見て損害賠償してるイメージ
 - 実は払わなくても直ちには留置所や刑務所には行かない



私人

VS

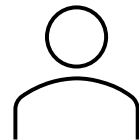


行政

- 目的は、刑罰よりも弱い「秩序の維持」

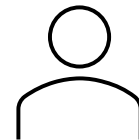
民事上のペナルティ

- 民法に定められる民事上の争訟
 - 損害賠償とか
 - 私人と私人の法的バトル💧
 - 民事上の問題では、基本的に犯罪ではない



私人

VS



私人

- 目的は、損害を負った「私人の救済」

契約について

- 民法に規定
- 私人と私人が約束をして、法的効果を発生させる
 - 権利と義務の関係
- 契約に関する自由
 - 締結の自由
 - 相手方選択の自由
 - 内容決定の自由
 - 方式の自由

民事上の救済

- 債務不履行
 - 契約で約束した義務を果たさない
 - 債務の履行、契約解除、損害賠償などが請求できる
- 不法行為
 - 故意や過失により相手に損害を発生させる行為
 - 損害賠償などが請求できる
 - 契約を必要としない

まとめ

- 違法行為に対する法的バトルには、刑事と民事がある
- 民事の場合、不法行為や債務不履行を理由に始まる
- 民事上の争訟は刑事罰とは別物

→ 違法行為と犯罪は別
(違法行為でも犯罪じゃない場合がある)

Section 2

著作権法について

著作権法の目的

第一条 この法律は、著作物並びに実演、レコード、放送及び有線放送に関し
著作権者の権利及びこれに隣接する権利を定め、これらの文化的所産の公正な利
用に留意しつつ、著作権等の権利の保護を図り、もって文化の発展に寄与
することを目的とする。

- 文化の発展が目的
- 著作権は当然に認められる権利ではない
（国が法律で定めて、文化のために与えた権利）

著作権の発生

- 著作物を作ったら直ちに発生する
- 登録は必要ない、無方式主義（⇔ 特許権）
 - 余談：アメリカでは昔……
 - 余談：©マークについて
 - 余談：大陸法と英米法
 - 余談：ベルヌ条約と万国著作権条約

間に合いませんでした（次回予告）

- 著作権を侵害するとは
- 著作権バリアと権利制限規定アタック
- 侵害の救済
- ライセンスとは
- ライセンス違反と著作権法違反と規約違反